

令和2年度 第4回富山支部評議会の概要報告（速報）

開催日	令和3年1月13日（水）13：30～15：30
会場	瑠璃の間（ボルフアートとやま4階）
議題	<p>(1) 令和3年度保険料率について</p> <p>(2) 令和3年度支部事業計画（案）について</p> <p>(3) 令和3年度支部保険者機能強化予算（案）について</p> <p>(4) その他</p>
出席者	<p>評議員</p> <p>学識経験者：中村評議員（議長）、泉評議員</p> <p>事業主代表：平野評議員、若林評議員、藤井評議員</p> <p>被保険者代表：大森評議員、川津評議員</p>
報告概要 （主な意見等）	<p>事務局より各議題について資料により説明。主な意見等は下記のとおりです。</p> <p>議題1. 令和3年度保険料率について</p> <p>資料1-1 令和3年度富山支部保険料率について</p> <p>資料1-2 令和3年度介護保険料率について</p> <p>参考資料1-1 令和3年度保険料率に関する論点について</p> <p>参考資料1-2 令和3年度保険料率算定に係る基礎データ</p> <p>参考資料1-3 令和2年度の都道府県単位保険料率の変更に係る支部長意見</p> <p>（被保険者代表） 保険料率算定における精算分とはなにか。</p> <p>（事務局） 精算分は決算において赤字であれば保険料率の引き上げ、黒字であれば引き下げとなる。富山支部は令和元年度の決算において黒字だったため0.003%引き下げとなっている。</p> <p>（被保険者代表） 介護保険料率を抑えるための取り組みはあるか。</p>

(事務局)

協会けんぽは介護納付金の徴収を代行していることから、納付に必要な介護保険料率を定めている。今後さらに介護保険料率は上がっていくと考えられるが、協会けんぽとして、健康づくり事業や重症化予防対策を推進し、介護が必要になる人を減らして介護給付費を抑えられるよう取り組んでいきたい。

(学識経験者)

令和3年度の保険料率は、インセンティブ制度の実績に基づいて引き下げられ前年度から据え置きとなったが、毎年引き下げられるとは限らない。支部として保険料率を抑えるためにできる取り組みはあるか。

(事務局)

医療費の内訳をみると、外来、歯科、調剤は全国平均より低いが、入院医療費は全国平均と同程度と高い。富山県は高血糖者が多く、自覚症状がないまま進行し、医療機関を受診した時点で重症化していることが原因の1つと考えられる。早期発見、早期治療につながるよう重症化予防対策などに取り組んでいきたい。

→富山支部の保険料率の提案については異議なく了承された。

議題2. 令和3年度支部事業計画(案)について

資料 2-1 令和3年度富山支部事業計画(案)

資料 2-2 令和3年度全国健康保険協会事業計画(案)

(学識経験者)

オンライン資格確認に関する KPI はあるか。

(事務局)

オンライン資格確認システムの仕組みについては、令和3年3月の開始時点で6割程度の医療機関、薬局において導入されていることを目標としているが、12月時点で医療機関等におけるカードリーダーの設置状況は19.5%である。カードリーダーの設置については国が無償で提供しているが、普及率は高いとは言えない状況である。引き続き、オンライン資格確認の円滑な実施のため、加入者のマイナンバー登録率の向上に向け取り組んでいきたい。

(事業主代表)

KPI にジェネリック医薬品の使用割合に関する項目があるが、使用割合には医療機関が院内で処方したジェネリック医薬品のみが含まれるのか。

(事務局)

ジェネリック医薬品の使用割合には、医療機関が院内で処方した分と、処方箋を出して調剤薬局で処方された分が含まれる。

(事業主代表)

令和3年度に実施予定のパイロット事業はあるか。

(事務局)

令和3年度は本部予算においてポリファーマシーの改善に係る事業を実施予定。薬の重複や飲み合わせなどによる様々なポリファーマシーが、地域によって偏りがあるか調査を実施する。具体的には、県薬剤師会等と連携し、県内保険薬局にアンケートを送り、県下で特に事例の多い処方内容や課題と捉えるべき処方内容を選定し、選定した処方内容を用いて対象者を抽出する。対象者にはポリファーマシーについての情報を提供し、医療費適正化に繋がる調査となるかを試行的に実施する。

(被保険者代表)

様々な取り組みの結果、インセンティブ制度の実績が全国2位、保険料率が全国で2番目に低い支部になったことを、新聞等を活用した周知していただきたい。

(事務局)

ニュースリリース等を活用して協会けんぽの実態を広報していきたい。

→令和3年度支部事業計画案については異議なく了承された。

議題3. 令和3年度支部保険者機能強化予算(案)について

資料3-1 令和3年度富山支部保険者機能強化予算(案)

資料3-2 令和3年度健康保険勘定予算(業務経費及び一般管理費の内訳)(案)

(学識経験者)

パイロット事業の予算は、富山支部における保険者機能強化予算とは別と考えてよいか。

(事務局)

パイロット事業は本部予算において実施するため、支部予算とは別である。

(事業主代表)

新型コロナウイルス感染症を5類感染症に指定してはどうかという議論があるが、分類が変更されて保険者が医療費を負担するようになった場合、保険料率への影響はあるか。

(事務局)

新型コロナウイルス感染症に係る医療費は保険適用されており、患者の支払は公費によって無料となっているが、残りの7~9割は保険者が負担している。感染者が増えれば医療費が増加するため、保険料率への影響があると考えられる。

→令和3年度支部保険者機能強化予算案については異議なく了承された。

議題4. その他

資料4 インセンティブ制度について

(学識経験者)

新型コロナウイルス感染症の流行状況や影響は全国で異なるため、令和2年度実績の評価については慎重に検討していただきたい。

以上

特記事項

・傍聴者なし。

次回 令和3年5月に開催予定